中央通りさくら並木公園
ワークショップ 第2回

平成 20 年 9 月 10 日（水）に、中央通りさくら並木公園（吉祥寺北町 4-11）の第２回ワークショップを開催しました。

前回に引き続き 16 名の市民の方々が参加され、公園の位置づけや諸条件を理解した上で、この公園でしたいことや必要なものなどについて意見交換を行いました。

続く第３回は平成 20 年 10 月 29 日（水）に開催します。

テーマ：アイデアを出し合いましょう

目的：①この公園の位置づけや諸条件について理解します

②この公園でしたい事などを自由に出し合います

項　目	主な内容
1)前回の振り返り	・前回のまとめ資料を基に、成果を振り返りました
2)参考資料の説明	・本公園の位置づけ ・周辺公園の施設内容など ・本公園の制約条件など
3)アイデアを出し合う	・グループに分かれて意見を出し合いました 「どんな公園にしたいか」 「どんなことがしたいか」 「どんなもの（こと）が必要か」など
4)グループ発表	・グループ毎に本日の成果を発表しました

グループに分かれて意見を出し合いました

意見を紙に書いて整理しました

武蔵野市　都市整備部　緑化環境センター

◆グループによる意見交換の結果をまとめると次のようになりました。

aグループ

居場所

・建物も少しはほしい
・色々な年齢・立場の人が触れ合える場として
・多目的な建物

管　理

・だれかが居て見守りのできる公園
・防犯上必要である
・管理の仕方にもよる。市民参加で行う
・掃除用具も要る

景　観

・市役所の近く…色々な人が来る。桜 etc. 立地条件の良さ
・自然と調和したものにする

不一致意見
（建物が必要×必要でない）

石について

・石はかなり整理しないとあぶない
・石は整理するもよいが生かしたい

緑を大切に

・明るい公園にしたい。
・しっとりした大人の空間にしたい。遊具、建物や花はほどほどに
・木を大切にしたい
・隣地との間の生垣→ハーブ
・緑の公園にしたい（チボリ in ITALY）
・広さを生かして全てのものを一体として生かしたい
・いわゆる日本庭園ではなくする
・木をそのまま残すのはどうか。少し整備したい
・花はあまり望まない。花木がよい
・ベンチは古くなるとみすぼらしい。石でよい

一致意見

bグループ

どんな公園か

・①現在の樹木はできるだけ残す（自然公園）
②桜並木公園の名にふさわしくしだれ桜など新しい木を増やす
③ベンチ、水飲み施設以外の人工物は出来るだけ置かない
④その他、花の咲く木
・あそぶ（騒ぐ）公園ではなくて…自然をゆったりと愛でる公園がいい
・けやきを残して！絶対に木を切らないで！
・様々な種類の樹木があるので、一目見て分かるようにしたい（プレートをつけるなど）
・武蔵野の林を体験できる公園
・むさしの市民公園との区別（大人も楽しめる公園）
・広大な庭園のイメージ（和風モダンの公園）
・鳥や虫が集まる公園
・（広さ）大きさを有効活用できる工夫が必要
・品のある公園。この土地の歴史に根ざした公園。雑木林（こなら・くぬぎ・シロダモなど）桑畑→大木→庭木
・和を基調とした樹木・庭木・自然の大木・石（特に）を活用した子供も興味を持てるような公園。遊具ではなく自然の形態を年寄りから子供までたのしめる
・現地の形態から入口を２ヶ所とし、道は直線を避けて曲線とする。前所有者の方のおいてある中くらいの石をおいた道、それに配した植木を生かす
・花壇を作り季節の花々を植え替えることには反対。皆で楽に維持してゆけるように（草花は宿根草など）
・管理棟等大きな建物をさける。市の基本計画に賛成
・市の代表的な公園に（目立つ場所なので市の内外の人々にも魅力的なものに）
・近隣の住民・店舗の方々の安全面を考え、公園の入口から全体を見渡せる状態が望ましい
・大きな樹木があるが、将来をも考えて明るいイメージのものにする
・現在、個人が所有している植物で生かせるものを寄贈して貰い（選別を用するが）生かしてゆく
・見る場所によってイメージが変わるような多面的な公園にする。

どんなことがしたいか

・特別な自然を持たない公園。自然に人が集まってお喋りのできる公園
・通り抜け、回遊。どちらでも自然を楽しむ

必要なもの

・街灯があると良い
・門限のあるトイレ
・トイレなし！水飲み場はあり！
・簡易トイレでなく、外からみても美観に優れ清潔感のあるものを設置する
・歩きやすいよう整備された歩道
・東屋か休憩所があるとよい
・オープンではあっても、道路に面した部分は低い塀を（公園であることをはっきりさせる）
・買い喰いする人とカラスのたまり場にならない様な工夫
・コンビニやハンバーガー店など深夜営業の店舗が多いので、防犯対策と必要最低限の防犯灯
・雑木林の再生
・庭木の再活性、石の再配置
・隣接した住宅（マンションなど）への配慮・工夫（ボール・花火）
・隣接するマンションとのしきり。生垣などの利用
・春は桜並木を眺めてお花見をしたいので、ベンチやいすなどを設置したい
・北側の塀を先ずフローリングにすること（現在コンクリートの打ち放し）

cグループ

イメージ

・春の桜と調和の取れた庭園型とする。（春の桜を利用するという観点を盛り込む）
・武蔵野市のランドマークとなるような公園
・庭園型の公園
・リゾートのような公園

アイデア

・四季を感じることができる公園
・四季の変化が楽しめる様な公園とする。例えば春の桜、初夏のアジサイ、秋のモミジ、ハナミズキ、冬のサザンカ等々
・季節毎のお花が咲いてる公園にしたいです。花壇も設置する
・現在ある木を残して自然の庭を散歩できる様な公園がよいと思います
・樹木と石が調和した公園
・現在の樹木、庭石等を最大限利用すること（緑を保てるということが最重要）
・森林浴が出来る
・芝生
・広々の空間は残して、大きな空、星が見渡せる公園
・昼食が取れるようなイスとテーブル
・寄付で作るメッセージ入りベンチ
・通路を枕木にする
・バスの停留所と公園東屋を合体させる
・バス・ベイを作る
・植栽との境界をしない（特定の出入口だけでなく、出入りが出来る様に）
・子供が遊べる。大人も遊べる
・夏は涼しく、冬はあたたかい
・屋外コミュニティーの場となる公園

必要なもの・こと

・路上生活者、若者たちなどのたまり場にならない様にすること
・時計（おしゃれな時計）
・照明ついて（適切な工夫が求められる）
・東屋でもいいし、自然の樹木の木陰を作って、その下に丸イスを置くといいです
・円形のテーブルをおいて、その周りで友人達（そのとき知人となった人でもよい）と話合いが出来れば素晴らしいです
・北側マンション壁については植栽を施す
・複合遊具は設置せずに、広い空間でゆったりと散歩できたらいいと思います
・遊具は必要ありませんが、ベンチはほしいです
・遊具などは設置しない（子供の遊び場的なものは近隣に多くあるので）